

橿原市第 4 次総合計画 前期基本計画

令和 3 年度 施策評価書

橿 原 市

目 次

I. 施策分野評価書

第1章 みんなが活躍し、個性輝くまち

1 保育・幼児教育	01
2 学校教育	03
3 子育て・子育て	05
4 生涯学習・社会教育	07
5 科学・文化芸術	09
6 スポーツ	11

第2章 みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち

7 健康・医療	13
8 地域福祉	15
9 高齢福祉	17
10 障がい福祉	19
11 市民協働	21
12 人権	23

第3章 みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち

13 防災	25
14 防犯	27
15 交通	29
16 道路・橋梁・河川	31
17 住環境・建築	33
18 地球環境	35
19 生活環境	37
20 上下水道	39

第4章 みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち

2 1	公園・緑地	41
2 2	まちづくり・景観	43
2 3	歴史・文化財	45
2 4	観光・交流	47
2 5	商工業・しごと	49
2 6	農業	51

第5章 市民とともに「かしはら」をつくる信頼の行政運営

2 7	行政運営	53
-----	------------	----

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	I	みんなが活躍し、個性輝くまち
施策分野	I	保育・幼児教育
目指す姿	子どもが自分の個性や能力を伸ばし、夢と希望を描いています。	

2. 成果を測る指標

指標名	幼少期の子どもの笑顔が輝き、のびのびと育っていると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	42.6 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 保育所・幼稚園管理事務	こども未来課
② 幼稚園教育課程充実事業	学校教育課
③ 幼稚園運営事務	学校教育課
④ 教育・保育総務事務	こども未来課
⑤ 幼稚園管理事務	教育総務課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
保育士の人材確保と職員のキャリアアップしていく取り組みは、子どもたちが生き生きと育つために大きな影響力を持っている。質の向上には、保育・教育の経験が重要であり、研修の時間は自己を振り返るために貴重な時間であると考えている。働き方改革を推進しながら保育・教育の質の向上をさせていきたい。	■ 財源	■ 人員
	□ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
こども未来課	学校教育課	教育総務課



施策分野の 進捗度	進捗度	C	目指す姿の実現には努力が必要である
	理由	各事務事業の成果指標・活動指標において、目標を上回る実績が少なかったため	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
保護者とスマートフォンアプリを介した情報伝達ができるよう、こども園に業務支援システムを導入し、園務の改善、保育環境の向上や保育・教育の質を向上させる環境を整えた。あわせてＩＣＴの活用により保育士の働き方改革を進めている。このため目指す姿への効果は高い事務事業である。
幼児期の特性を踏まえ、幼児教育は環境を通して行うものであることを基本としている。人的環境となる保育士による保育・教育の指導計画に基づく指導は、幼児の発達に大きな効果が期待できるものである。その人材の資質向上をするための研修の機会は大変重要である。指定研究園を通しての研修は効果が大きい。外部講師の専門的なノウハウを学び、保育士が自ら実践できるように質の向上に努めている。
幼児教育が充実したものとなるため、一人ひとりの発達段階に即したきめ細かな保育を進め、全職員が協力し合い幼稚園運営を行っている。市民ニーズの高い３歳児保育開始（３園）及び預かり保育時間の拡充の実施といった就学前教育の環境の充実、保護者の社会進出することへの選択の幅を広げた。保育・教育の環境の充実に必要な人材確保も正規職員の採用を増加することにより質の向上はさらに上がった。会計年度任用職員の協力体制もあって、乳幼児の保育・教育も充実してきている。
「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、保育士確保の取組や受け皿整備を実施することができた。今後の就学前教育・保育について、中間年の計画見直しを実施し計画どおり取り組みを進めていくことが、目指す姿の実現につながると考えられる。
各幼稚園にＬＧＷＡＮ網を整備し、無線ＬＡＮ化を行うとともに業務支援システム並びに広角カメラ・モニタを導入した。これにより、保育室等において統一システムにより指導計画・指導要録等を作成し、保護者とスマートフォンアプリを介した情報伝達をすることができ、働き方改革と教育の質の向上を図ることができる。また、療育担当者からオンラインによる支援を受けることができ、障がい等に対して臨機応変に対応することができる。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（榎原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	I	みんなが活躍し、個性輝くまち
施策分野	2	学校教育
目指す姿	子どもが確かな学力、豊かな人間性、たくましい心身をバランス良く身につけています。	

2. 成果を測る指標

指標名	市内の小中学生が活発だと感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	36.9 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果がかった順番）

効果がかった事務事業	担当課室
① 教育施設再配置事業	教育総務課
② いじめ・不登校対策等生徒指導事業	学校教育課
③ 学校運営事務	学校教育課
④ 小中学校教育課程充実事業	学校教育課
⑤ 学校給食事業	教育総務課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
<p>県費教職員の配置に欠員が生じ、その質が低下する中で、現場の負担はますます過重となり、そのしわ寄せは子どもたちに向かっている。持続可能で適切な教育行政の実施には人件費の増額は必須である。また、教員も含めた現場に対するカウンセラーの増員も避けて通れず、児童生徒の心身の安全を確保し、命と魂を守るには、こころのケアルームカウンセラーの復活が望まれる。さらに、児童生徒の創造性や感受性を育成するために読書活動を推進する必要があるが、学校図書館司書が必要。同配置費用については、交付税措置されているが予算査定は0である。県内でも珍しい無配置団体である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 財源	<input checked="" type="checkbox"/> 人員
	<input type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input type="checkbox"/> その他 ()	



担当課室		
教育総務課	学校教育課	



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	(教育総務課)児童生徒への食育や地場産農産物の需要拡大に寄与することを目的に「学校及びこども園の給食における地場産農産物等の活用に関する協定」を締結した。 (学校教育課)学校現場においては、各種非常勤講師を加配するとともに、オンラインカウンセリングを導入するなど子どもの居場所づくりに努めている。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
教育施設の再配置については、白檀南小学校と白檀北小学校を再編して、令和6年度に統合する実施計画を令和3年度に策定した。現在、両校では児童数の減少により、学校の小規模校化が進んでいるが、統合することにより、クラス替えができたり、人間関係の幅を広げることができる。また、グループ学習などの多様な学習形態を取り入れられること、運動会や修学旅行などの学校行事や児童会活動、クラブ活動など、集団活動の種類が増えるなど、教育的な環境が向上することが効果が期待できる。
いじめ・不登校対策の非常勤講師及び心理相談員等を配置することで、一人ひとりの子どもの個性を尊重しつつ、生涯学習の基礎基本の習得を促す教育環境を保持するとともに、スクールカウンセラーやスクールライフサポーターなどの配置により、いじめや不登校の組織的解決に貢献している。 また、適応指導教室である虹の広場の設置により、不登校傾向児童の居場所を確保している。
特別支援対応の非常勤講師や教科対応の非常勤講師を加配し、また、部活動指導員なども積極的に配置することで、特別な支援の必要があってもなくても、分け隔てなく過ごせる学校環境を整備している。これらを通じ、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく身につけられる教育を全ての児童・生徒に対して実施している。
教育活動サポート事業の講師謝礼金を負担することにより、教育講演会、出前授業などの教育内容が含まれる事業実施を支援し、それぞれの学校ごとに特色のある学校づくりへの取り組みを支援することができた。また、檀原市教育委員会が指定研究学校を指定し、各指定研究学校での研究の充実と推進を図るとともに、その研究成果を通じて本市教育の進展に役立てることができている。
各学校で食に関する指導の全体計画や年間計画を作成し、教科横断的に食に関する指導を行った。また、日々提供する学校給食を「生きた教材」として活用し、地場産物を活用したり郷土食について知ることにより、食料の生産等に対する関心と理解を深め、郷土や歴史の学習にもつなげることができた。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	I	みんなが活躍し、個性輝くまち
施策分野	3	子育て・子育て
目指す姿	子育て世代が安心して出産や子育てをすることができ、いきいきと輝いています。	

2. 成果を測る指標

指標名	出産・子育ての悩みや不安を相談できる環境があると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	30.2 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 放課後児童健全育成事業	子育て支援課
② 子ども家庭総合支援拠点事業	子育て支援課
③ 母子包括支援事業	健康増進課
④ 児童発達支援事業	こども発達支援課
⑤ 育児支援事業	子育て支援課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
放課後児童クラブへの需要の高まりに対して指導員の確保が課題であり処遇改善の必要性が高い。ファミリーサポートセンター事業の援助会員の確保が課題であり啓発の充実や事業の安定的な運営のためには正職員の配置が必要。産後ケア事業を今後検討していく必要があり課題として市内に受け入れ施設が乏しい事があげられ県助産師会を含む関係機関と協力しながら実施方法を検討していく。	■ 財源	■ 人員
	□ 組織体制	□ 法律改正
	■ その他 （既存の社会資源を活用した実施方法の検討）	



担当課室		
健康増進課	保険医療課	子育て支援課
こども発達支援課		



施策分野の 進捗度	進捗度	C	目指す姿の実現には努力が必要である
	理由	各事務事業の成果指標において、実績が目標を上回るものが少なかったため	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
子どもを放課後児童クラブに預けることにより、子どもの安全性が確保できるため、子育て世代が安心して就労に専念することができている。保護者の就労形態の多様化により、放課後児童クラブへの需要は年々高まりが予想されるため、受け入れ人数の確保や安全性の確保のための施設整備を進めている。
子ども家庭総合支援拠点の設置に向け、児童虐待対応の専門性を有する相談員を増員・配置し体制を整えた。また、虐待を受けている子ども等の早期発見や適切な保護を図るための「要保護児童対策協議会」の構成機関や保護者が一時的に養育困難になった場合の「子育て短期支援事業」委託先を増加するなど、児童虐待の早期発見・早期対応の体制もあわせて整えている。児童虐待は生涯を通じて心身に影響を及ぼすため、事業の効果は高い。
妊娠中から就学前まで切れ目のない支援を実施するために、利用者支援事業（母子保健型）として妊娠届出時の全件面談及びケアプラン作成、妊娠5か月時の全件電話等での状況確認と保健指導、産後1か月以内の全件状況把握を実施した。また、産後早期以降についても母子保健事業を実施する中で、地区担当保健師を中心として、育児不安等の母親の悩みを発見し、寄り添いながら支援につなげている。
児童発達支援事業所かしの木園では、個々の課題や障がいの程度及び発達状況に合わせたきめ細やかな療育を行っている。また保護者への個別相談も同時に行っており保護者支援にも力を入れている。年度末に実施した子ども及び保護者への満足度調査において、療育や支援の内容や方法を総合的に検討してもらった上で、双方とも95%以上の高い満足度を得ている。
在宅での子育てに不安や孤独感をもつ方は少なくないが、こども広場や子育て支援センターは子育ての息抜きや相談の場になっており効果を上げている。一方で、ファミリーサポートセンター事業は、育児の援助を行うために登録している援助会員数が限られており、十分に機能しているとはいえない。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	I	みんなが活躍し、個性輝くまち
施策分野	4	生涯学習・社会教育
目指す姿	市民がいつでもどこでも学びたいことを学ぶことができ、学習の成果を活かしながら生きがいのある人生を過ごしています。	

2. 成果を測る指標

指標名	生涯学習に取り組んでいる市民の割合					
実績値	令和2年度	25.9 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業	担当課室
① 社会教育推進事業	社会教育課
② 中央公民館管理活用事業	社会教育課
③ 地区公民館管理活用事業	社会教育課
④ 青少年健全育成事業	社会教育課
⑤ 成人式開催事業	社会教育課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
人件費及び施設の維持管理費については一定の業務量及びコストを要するため見直しの余地は少ないが、ソフト面については継続するコロナ禍の中でも過去2年の経験及びノウハウの蓄積を生かした創意工夫をこらしてく。また、そのためにも組織体制の充実が求められる。	<input checked="" type="checkbox"/> 財源	<input checked="" type="checkbox"/> 人員
	<input checked="" type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input type="checkbox"/> その他 （ ）	



担当課室		
社会教育課		



施策分野の 進捗度	進捗度	C	目指す姿の実現には努力が必要である
	理由	コロナ禍の終息がいまだ見えない中での現場の創意工夫はいまだに続いているが、人と人とのふれ合いが制限される状況の影響は大きく、多くの活動を制限された。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
講座・事業への参加率について事業毎に見ると、子ども教室事業の参加率が4割に満たなかった。終息の見えないコロナ禍において学級閉鎖・学校閉鎖等子どもの活動を大幅に制限する事態が相次ぎ、やむを得ない。その一方で家庭教育支援講座については参加率が非常に高く9割を超える。育児やしつけへの親の関心の高さと参加意欲が窺われ、その期待に応えられたものと見る。	
適切な施設の維持管理を行い、市民が自ら学ぶことができる場所の提供をした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策による施設利用の人数制限の影響も多くあったことは否めない。また、中央公民館主催教室を開講することで、生涯学習のきっかけづくりの機会を提供した。各世代に対応した教室を開講することができ、教室開校数は目標値に達した。	
適切な施設の維持管理を行い、市民が自ら学ぶことができる場所の提供をした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症対策による施設利用の人数制限の影響も多くあったことは否めない。また、コロナ禍の中、一部の地区公民館は主催教室を開講することで、地域に応じた生涯学習のきっかけづくりの機会を提供した。各地区公民館で地域に対応した教室を開講することができ、地域住民の交流活動につながった。	
次世代を担う青少年の健全育成は生涯学習の発展及びその成果の継承にとって重要な課題である。青少年センターの諸活動はそれに対する地域の関心を高め、それが生涯学習の発展にとってのよりよい環境づくりにつながっている。	
生涯学習の推進において若い世代と地域とのつながりは学習成果の継承という面からも重要であり、市外に転出した新成人も多数参加する成人式は同年代の旧友との交流を通じてそのつながりを実感する貴重な機会となっている。	



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	I	みんなが活躍し、個性輝くまち
施策分野	5	科学・文化芸術
目指す姿	科学や文化芸術に親しむ機会が多くあり、市民が豊かな知性と心を育んでいます。	

2. 成果を測る指標

指標名	科学・文化芸術に親しんでいる市民の割合					
実績値	令和2年度	26.4 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業	担当課室
① 昆虫館管理活用事業	文化振興課（昆虫館）
② 図書館管理活用事業	文化振興課(図書館)
③ 文化芸術振興事業	文化振興課
④ こども科学館管理活用事業	文化振興課
⑤ 文化ホール管理活用事業	文化振興課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
文化芸術の拠点としてかしはら万葉ホールを利用し、情報発信を行っていた。しかし、外部的要因等で施設が利用できなかった時、情報発信自体が停止した。 かしはら万葉ホールにこだわらず、外で公演事業等を行えるような体制作りや、博物館の情報の源である、標本資料の整理を進めていく必要がある。	■ 財源	■ 人員
	□ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
文化振興課		



施策分野の 進捗度	進捗度	C	目指す姿の実現には努力が必要である
	理由	昆虫館としての役割は多少果たせたが、かしはら万葉ホールがワクチン接種会場となったため、科学・文化芸術の発信拠点としての役割を果たすことができなかった。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
昆虫を中心とした生物や自然、環境について親しんでいただく機会として、特別展（１回）、企画展（３回）を実施し、特に「ダンゴムシ展」についてはお子様受けもよく、開催期間中に9,987人の入館があり、アンケートからも「色んな種類がいて驚いた」や「飼ってみたい」などの多数の好評の声をいただいた。また学校団体からの依頼が多い、モンシロチョウの出前講座（15校）やリモートによる講座（1校）も実施し、刊行物である昆虫館だよりダーウィンや昆虫紀要も発行し、市民に自然の大切さを育まれた。
図書館には、図書、記録その他必要な資料を収集・整理・保存し人々に提供する役割がある。乳幼児から高齢者まであらゆる市民が図書館を利用することで、豊かな知性と心を育むことができた。
文化・芸術振興に貢献している各団体に対して補助金を交付し、健全な事業活動を行えるように育成する。団体が多くの活動を行うことにより、市民の文化レベル向上を図った。また、将来的に補助金に頼らず、運営できるように会費の在り方等の指導を行った。
こども科学館の展示物や科学館の先生による実験等で、こどもの科学に対する好奇心を育てた。しかし、5月の奈良県緊急事態措置に伴う休館及びワクチン接種会場設置に伴う制限等により、こども科学館の入館者数は、想定より4割以上減少した。
文化的・芸術的に優れた公演事業を行い、市民の文化レベルの向上を図る。また、文化等発信の拠点として、色々な個人・団体に貸館施設を提供する。 しかし、ワクチン接種会場設置として全館利用したため、公演事業・貸館事業を停止した。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	I	みんなが活躍し、個性輝くまち
施策分野	6	スポーツ
目指す姿	市民がさまざまなかたちでスポーツに親しみ、健康で豊かに暮らしています。	

2. 成果を測る指標

指標名	日常的にスポーツに親しんでいる市民の割合					
実績値	令和2年度	39.2 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① スポーツ活動支援事業	スポーツ推進課
② スポーツ大会等開催事業	スポーツ推進課
③ 体育館管理活用事業	スポーツ推進課
④ 橿原運動公園管理活用事業	スポーツ推進課
⑤ シルクの杜管理活用事業	スポーツ推進課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
スポーツツーリズムを通じた交流人口増加・地域活性化事業を充実させていくためマンパワーを充実させる。また、スポーツ施設については、スポーツ環境を持続的に提供していくため、スポーツ施設計画に基づき、施設の整備・更新等を推進していく。	■ 財源	■ 人員
	■ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
スポーツ推進課		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	概ね順調であり、市民の誰もがスポーツに関わることができるよう情報発信することが出来たため。また、新型コロナ禍でイベント参加者・トップアスリート学校訪問・施設利用者は減少したが、コロナ対策を講じ市民のスポーツに親しむ機会の確保に努めることが出来たため。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
生涯スポーツの振興と東京オリパラを契機としたスポーツの振興、交流人口の拡大、地域の活性化を図るために、年齢、性別、障がいの有無を問わず、市民の誰もがスポーツに関わることができるよう、主にニューススポーツを普及・指導する「スポーツ推進委員派遣事業」を行いました（10件）。また、東京オリパラ大会関連情報や地元スポーツクラブ・ご当地アスリート情報を積極的に発信しました（24回）。
各自のライフスタイルや年齢に応じてスポーツ活動に親しめる機会を提供するため、各種スポーツ大会・教室をコロナ対策を講じた上で開催しました。結果、主に6～10月開催の「市民体育大会」は、新型コロナ禍で約30競技のうち約3分の1が中止となったため、R1と比較して参加者は半減しました。一方、11月開催の「スポーツ・レクリエーション祭」は、ほぼ例年どおり実施し、参加者数は487名で、R1（448名）と比較して増加しました。また、子ども達のスポーツに対する興味・関心・競技力を向上させるため、トップアスリートの学校訪問事業をコロナ対策を講じた上で実施しました。結果、「トップアスリートの学校訪問」は、一部中止となり、4校実施にとどまりました。
スポーツ環境を提供することにより、市民がスポーツに親しむ機会の確保に努めました。結果、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、令和3年5月を臨時休館に、また、開館中も施設利用者数の制限を実施したことから、屋内スポーツ施設のうち、トレーニングルームの利用者数が特に減少しました。今後もスポーツ環境を持続的に提供していくため、スポーツ施設計画に基づき、施設の整備・更新等を推進していきます。
スポーツ環境を提供することにより、市民がスポーツに親しむ機会の確保に努めました。結果、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、総合プールを休止としたほか、有料施設を令和3年5月に臨時休館とし、利用者数は総合プール休止の影響が大きく減少しましたが、令和元年度に整備した多目的グラウンドの利用者数が年々増加しています。今後もスポーツ環境を持続的に提供していくため、スポーツ施設計画に基づき、施設の整備・更新等を推進していきます。
スポーツ環境を提供することにより、市民がスポーツに親しむ機会の確保に努めました。結果、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、令和3年5月を臨時休館に、また、開館中も施設利用者数の制限を実施したことから利用者数が減少しました。今後もスポーツ環境を持続的に提供していくため、スポーツ施設計画に基づき、施設の整備・更新等を推進していきます。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅱ	みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち
施策分野	7	健康・医療
目指す姿	市民が健康的な生活習慣を身につけ、自発的に健康づくりに取り組んでいます。	

2. 成果を測る指標

指標名	日常的に健康づくりに関心を寄せている市民の割合					
実績値	令和2年度	49.6 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 健康増進事業	健康増進課
② 国民健康保険事務	保険医療課
③ 保健衛生普及事務	保険医療課
④ 予防接種事業	健康増進課
⑤ 救急医療事業	健康増進課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
集団等に対するポピュレーションアプローチを展開していく必要があり、HPでの動画公開を行うなど、新型コロナウイルス感染症の影響下でも可能な方法を検討・実施する。	■ 財源	■ 人員
	□ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
健康増進課	保険医療課	



施策分野の 進捗度	進捗度	C	目指す姿の実現には努力が必要である
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、対面・集団的なアプローチを十分に行えなかった。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
がん検診等の各種検診の実施や今日からはじめるウォーキング講座を3回、運動普及推進員による定例ウォーキングを5回実施したほか、HP上での啓発も行った。新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での教室開催の制限や受診控えの影響もあったが、各種検診の自発的な受診や市民が健康的な生活習慣を身に付けることにつながった。	
保険者として国民健康保険の被保険者に対して必要な医療の給付等を行うことにより、市民の健康に寄与した。	
保険者として国民健康保険の被保険者に対して特定健診や脳ドック検診の実施・費用助成、生活習慣病対策の早期介入や改善指導等を行うことにより、市民の健康増進に寄与した。	
予防接種法に基づき、乳幼児から高齢者まで幅広く個別予防接種を実施し、乳幼児予防接種者数延べ21,633人、高齢者予防接種者数延べ20,411人となった。予防接種を推進することにより、感染症の発生予防となり、結果市民の健康づくりの推進につながった。	
令和3年度は休日診療所受診者数は延べ5,189人、二次救急輪番病院患者受け入れ数は4,543人になった。救急医療体制を安定的に確保することにより、市民が安心して健康的な生活を送ることに寄与した。	



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅱ	みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち
施策分野	8	地域福祉
目指す姿	地域の誰もが主体となって支え合いながら、健やかに安心して心豊かに暮らしています。	

2. 成果を測る指標

指標名	身近に支え合える環境があると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	49.4 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 生活困窮者自立支援事業	福祉総務課
② 地域福祉活動推進事業	福祉総務課
③ 社会福祉事務	福祉総務課
④ 生活保護事務	生活福祉課
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
地域福祉の推進には地域住民、行政、民間団体が連携し、住民の課題解決に取り組むことが重要である。そのためには地域の誰もが支え合うネットワークを更に強化しながら、地域福祉を担う人材の確保と育成が求められる。	<input type="checkbox"/> 財源	<input checked="" type="checkbox"/> 人員
	<input checked="" type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input type="checkbox"/> その他 （ ）	



担当課室		
福祉総務課	生活福祉課	



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	地域が抱える課題解決のためのネットワーク体制の充実や相談者への適切な支援など、地域福祉の推進には一定の効果があったが、福祉を担う人材の確保と育成、変化する社会情勢に即した更なる組織体制の強化が課題として残った。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
支援が必要な人への相談支援体制を整え、必要な情報・サービスを提供することにより、生活困窮者への自立を支援するものである。近年の社会情勢により相談内容が一層複合化・複雑化した、「断らない相談支援」を目指したことによって、生活保護に至る前の第2のセーフティネットとして、相談者に寄り添いながら多くの情報・サービスを提供し、少しでも安心して暮らせる生活に繋がった。就労率・増収率は目標値には届いていないが、要となる相談件数が目標値を超えているので、一定の効果は発揮している。
地域が抱える課題について、市、社会福祉協議会、地域住民、各関係団体と協働して解決に取り組むことが重要である。そのためには地域で活動する住民や団体との体制整備が不可欠である。特に民生児童委員の活動支援、地域見守りネットワークの強化、災害時に備えた避難行動要支援者名簿の作成・更新などへの取組みにより、地域福祉の推進には一定の効果はあったと言える。今後もこういった取組みを強化しつつ、今般の社会情勢に即した地域福祉活動の推進に取り組んでいく。
戦没者追悼式の開催、戦没者遺族への特別弔慰金支給、法務省提唱の「社会を明るくする運動」の啓発、社会福祉法人の認可及び指導監査、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事務など福祉政策全般にわたり事業を展開した。今般の社会情勢により上記の事業規模を縮小せざるを得なかったが、今後に向けて経費の削減や民間委託を行うなど事業の効率化を図りたい。
健康で文化的な最低限度の生活を保障するため生活保護の適正実施を行っている。生活保護法で定められた基準生活費より世帯の収入や資産が上回り、保護受給に該当しない場合においても、年金制度や社会保険等の他法他施策を案内している。また受給世帯には就労による経済的自立や身体や精神の健康を回復・維持して自立した生活を送ることができるよう自立支援にも取り組んでいる。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅱ	みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち
施策分野	9	高齢福祉
目指す姿	いざというときの安心感があり、高齢者が住み慣れた地域で、心豊かな生活をしています。	

2. 成果を測る指標

指標名	市内の高齢者は元気だと感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	58.6 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 高齢者地域生活支援事業	地域包括支援課
② 介護保険事務	介護保険課
③ 介護サービス事業者指定事務	介護保険課
④	
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
高齢者が住み慣れた地域で、安心・安全に暮らし続けるためには、見守り活動を中心とした地域支援ネットワークと相談支援体制を更に充実させ、関係機関と連携を図りながら課題解決に向けて迅速に取り組む必要がある。また、度重なる介護保険制度改正対応や介護サービスの質の向上を図るためにも、財源確保及び人員の増員が必要である。	■ 財源	■ 人員
	□ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
介護保険課	地域包括支援課	



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	介護保険事業計画に基づき、事業を進めているため。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
ひとり暮らし高齢者等が安心して日常生活が送れるよう、総合相談業務として、かしはら街の介護相談室が24時間365日体制で、高齢者の方の悩みに答えている。急病や事故等の「緊急通報」に対して、緊急通報装置を貸与し、24時間365日体制で、体調の相談やアセスメントができる専門知識を有するオペレーターが支援を行っている。転倒などのリスクを減らし、予防・要介護状態になることを予防するため、市内3ヶ所の会場で、椅子に座って行う簡単な健康体操教室を開催している。
介護保険運営協議会(年2回)を開催し、意見をいただきながら、介護保険事業計画に基づき、保険者として安定した介護保険事業の運営を行っている。 奈良県内12市の中で最も低い介護保険料基準額を設定し、被保険者が介護が必要となった場合に、介護サービスを受けることができるように介護保険制度の安定した運営を継続している。
介護が必要になっても住み慣れた地域で介護サービスの提供を受けることができるように、介護保険事業計画に基づき、介護サービスを提供する基盤整備を進めるため、令和3年度は、橿原市内に所在する特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の増床について、指定権者となる奈良県に施設整備に係る上申を行った。その結果、奈良県によって整備事業者が選定され、高齢化社会における市民ニーズに対応することのできる施設整備を進めることが決定した。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅱ	みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち
施策分野	10	障がい福祉
目指す姿	障がいのある人もない人も、誰もがお互いに尊重し支えあいながら、いきいきと暮らしています。	

2. 成果を測る指標

指標名	障がいのある人が日常生活を送るための環境が整っていると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	15 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果がかった順番）

効果がかった事務事業	担当課室
① 障がい者地域生活支援事業	障がい福祉課
② 障がい者自立支援事業	障がい福祉課
③ 障がい福祉事務	障がい福祉課
④ 障がい関係団体補助事業	障がい福祉課
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
障がいに関する施策は、国の制度によるところが大きく、利用者及び決算額は年々増加しており、財政上の負担も増えてきている。また人権擁護の観点からも、障がいに対する偏見や差別があることも課題である。	■ 財源	■ 人員
	□ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
障がい福祉課		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	障がいのある人が日常生活をおくるため、相談支援事業を行い、また、適切な障がい福祉サービスの支給等により、自立への支援をすることができたため。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
障がい者地域生活支援事業については、障がい者の生活に対しての任意事業についての必要度は高く、事業の効果は高い。コロナによる不安などの高まりから地域活動支援センターのサロンの利用については減少したが、相談支援事業に関しては増加傾向となった。
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律では、障がいの有無にかかわらず、国民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目的としています。そのため、障がいのある人の地域生活へ移行を進める一つとして共同生活援助（グループホーム）が重要となっており、利用者が増えている。
高齢化や自立支援医療制度に伴い身体障がい者数は増加傾向である。精神障がい者数も年々増加傾向にあるが、障がい者福祉制度が拡大、複雑化していく中でニーズに合ったサービス提供には、障がい者一人一人に合った形での説明や案内をしている。
各団体は、定期的に会議や交流会を開き、話し合う機会を持ち、障がい者同士の不安の解決や意欲の向上につなげている。障がい者の住環境や職場環境の改善に役立っている。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅱ	みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち
施策分野	ⅡⅠ	市民協働
目指す姿	それぞれの役割と責任のもと、市民が自らの意思で地域の活動に主体的に参加・参画し、まちづくりを行っています。	

2. 成果を測る指標

指標名	地域の活動に、積極的に参加している市民の割合					
実績値	令和2年度	16.5 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 自治委員活動支援事業	市民協働課
② 地域活動支援事業	市民協働課
③ 集会所施設整備助成事業	市民協働課
④ 結婚活動支援事業	市民協働課
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
限られた財源・人員等を有効に活用しながら、地域活動団体と協働して住みよいまちづくりの実現に努める。	<input checked="" type="checkbox"/> 財源	<input checked="" type="checkbox"/> 人員
	<input type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input type="checkbox"/> その他 （ ）	



担当課室		
市民協働課		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	地域課題の解決のために活動する市民活動団体の取組への支援が進められているから。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
自治会への加入促進により、自治会活動を通じて住民相互の連帯感を深める。令和3年度の自治会加入率は81.5%である。高齢化や核家族化が進展し、市全体の世帯数が増加していることから加入率は年々低下している。地域住民の集合体である地域コミュニティ組織への活動を支援することによって、自立したコミュニティ活動の推進を図る。
地域活性化のために、地域課題に取り組む住民と行政が協働し、相互の力がまちづくりに生かされるよう参画・支援している。市の市民活動公募事業支援補助金・各種講座等を継続して実施する。市民活動を支援する拠点施設である「市民活動交流広場」を有効に活用して、それぞれが役割を認識し、共助社会を築いていく。
防災防犯活動・地域福祉活動等の地域コミュニティ活動に取り組める環境づくりとして、市財政の状況をみながら拠点施設となるコミュニティ施設（集会所）の整備助成を行う。
少子高齢化社会に伴う人口減少を食い止めるために、「かしはら結婚サポーター」を育成し、結婚したいと思う人への出会いの場を提供している。行政と協働して実施している婚活イベント・セミナー・婚活ルーム等を通して、9組のカップルが誕生している。その後、成婚に至る「かしはら結婚サポーター」の支援体制の充実を目指す。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅱ	みんなが健やかに、支え合って暮らせるまち
施策分野	12	人権
目指す姿	すべての人の人権が尊重される差別のない社会を築く意識を市民の誰もが持っています。	

2. 成果を測る指標

指標名	身近なところで人権問題が発生していると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	15.5 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 男女共同参画推進事業	人権政策課
② 人権教育推進事業	人権教育課
③ 人権啓発事業	人権政策課
④ 大久保コミュニティセンター管理活用事業	大久保コミュニティセンター
⑤ 飛騨コミュニティセンター管理活用事業	飛騨コミュニティセンター

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
<p>長年にわたる人権教育及び啓発活動により、重大な人権侵害事象は発生していない。成果を持続するためには、施設の老朽化に対処しつつ、教育・啓発・相談の体制を維持が必要である。</p> <p>男女間の様々な格差を克服するために、一人ひとりの個性と能力を発揮できる環境を創る意識醸成を続ける。</p>	■ 財源	■ 人員
	■ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
人権政策課	飛騨コミュニティセンター	大久保コミュニティセンター
人権教育課		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	人権三法及び関連する条例の施行により人権を尊重する機運が醸成されている。加えて、コロナ禍において新たな人権侵害が発生し、人権を考える機会が増えている。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
男女がともに、あらゆる分野で、個性と能力が十分に発揮できる多様性に富んだ豊かで活力のある社会の実現に向けて、男女共同参画広場を拠点に講座、交流、相談等の様々な学習機会を創出している。
学校・園・所における児童生徒の人権、とりわけ教育を受ける権利を保障し、教育・保育活動を通じて子どもたちに人権尊重の意識を育み・高めていく取組を推進している。
一人ひとりの人権意識の高揚を図るため人権啓発に取り組むとともに、人権侵害事象や人権問題に絡む悩みごとに対応するため相談体制を整え、迅速な対応と関係機関との連携によって差別事象の解決に努めている。
コミュニティセンターは地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の交流拠点として、相談事業や人権課題解決のための各種事業を総合的に運営している。また、児童館も併設していることで、子ども達の健やかな成長を図っている。さらに、施設の適正管理のため、コミュニティセンターの大規模改修工事の設計をおこなった。（令和4年度工事予定）
コミュニティセンターは地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の交流拠点として、相談事業や人権課題解決のための各種事業を総合的に運営している。また、児童館も併設していることで、子ども達の健やかな成長を図っている。さらに、施設の適正管理のため、コミュニティセンターの大規模改修工事の設計を令和4年度に実施する準備をおこなった。（令和5年度工事予定）



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅲ	みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち
施策分野	13	防災
目指す姿	市民、地域、行政が本市の災害リスクを知り、それぞれの立場で生命・身体・財産を守る備えができています。	

2. 成果を測る指標

指標名	住んでいる場所の災害リスクを知り、備えができている市民の割合					
実績値	令和2年度	25.9 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 災害対策事業	危機管理課
② 安心パーク管理事務	危機管理課
③ 消防体制維持管理事務	危機管理課
④	
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
災害リスクと備えを推進していくためには、市民、地域、行政の防災力向上に課題があります。安心パークでの防災訓練や講座のメニューを改訂し、啓発に努め、行政においてできる限り早期に備蓄を行うと共に職員に対する教育を実施します。また、地域防災力向上を図るため消防団員の安定した確保により解決します。	■ 財源	■ 人員
	□ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
危機管理課		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	全市民に浸透していないが、洪水ハザードマップを作成し全戸配布したことにより市民に住んでいる場所の災害リスクを周知することができました。また、地域に対する防災訓練や講座を実施することで災害に対する備えが進んでいると判断しました。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
令和3年出水期までに洪水ハザードマップを全戸配布し、スマホ版ハザードマップを整備することで、市民1人1人に住んでいる場所の災害リスクを知ってもらうことができました。また、自主防災組織に対しても適切な指導・支援を行ったことで、自助・共助を中心とした地域防災力の向上につなげることができました。災害協定については目標通り2団体と協定を締結できました。今後、行政の防災力向上を目指し、災害備蓄や職員に対する防災教育や訓練に努めます。	
自主防災組織等に対し災害時に実践できる技能や知識を訓練や防災講座を通じて周知・啓発することにより、生命・身体・財産のリスクに対し備えができました。コロナウィルス感染症の影響があったものの、令和3年度の市民対象向け稼働率が令和2年度に比べ多少上昇しましたが、今後、訓練や講座メニューを改訂し、更なる稼働率向上に努めます。	
その地域に密着し、住民の安心と安全を守る消防団は消火活動、訓練指導、危険箇所や年末の警戒活動など、幅広い活動に従事し、災害時には即時に対応できる能力を発揮しています。分団としての活動を支えている団員の確保が、地域防災力を維持するのに必要不可欠です。今年度については、1名の団員増加があり、引き続き安定した人数の団員確保に努めます。	



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅲ	みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち
施策分野	14	防犯
目指す姿	市民が防犯意識・消費者意識を自ら高め、安全で安心な日常生活を送っています。	

2. 成果を測る指標

指標名	日頃から防犯や消費者問題に関心を寄せている市民の割合					
実績値	令和2年度	37.2 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 防犯推進事業	市民協働課
② 消費者問題対策事業	市民協働課
③	
④	
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
限られた財源を有効に活用して、防犯意識を高める広報・啓発活動を実施する。	■ 財源	■ 人員
	□ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
市民協働課		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	防犯灯設置及び防犯電話機購入設置補助金を交付して生活基盤を整備し、市民生活の安全に寄与しているから。また、消費生活相談で相談者に助言等を行うことによって、防犯意識の高揚を図っているから。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
自治組織に対する防犯灯設置補助事業及び高齢者を対象にした防犯電話機購入設置補助事業、鉄道駅前に設置している防犯カメラの運用及び維持管理等、市民等への生活安全施策及び自主防犯活動への普及啓発を行う。また、警察・関係機関と連携・協力し安全で住みよいまちづくりを目指す。	
消費生活センターで消費生活相談を実施して、消費生活の助言や苦情処理等を行う。市民の被害未然防止・拡大防止のために相談体制の充実を図り、安全で豊かな消費生活を送れる社会を目指す。	



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅲ	みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち
施策分野	15	交通
目指す姿	自分に合った手段で、誰もが快適に市内を移動することができています。	

2. 成果を測る指標

指標名	市内を快適に移動することができていると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	64.6 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業	担当課室
① 地域交通網整備事業費	都市計画課
② 自転車駐車場管理運営費	都市計画課
③ 自動車駐車場管理運営費	都市計画課
④ 交通安全推進事業費	都市計画課
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
公共交通に対する問題は単年度で解決できるものではなく、交通事業者や利用者の協力も必要である。あわせて交通政策に携わる職員の人材育成、経験が必要である。また、公共交通、駐車場とも利用者減により、収入減となっており、何らかの対策が必要である。	■ 財源	■ 人員
	■ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
都市計画課		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	交通環境を充実させるため公共交通事業者への支援や道路機能の保持により、快適に移動するという都市機能の維持に寄与している。コロナ禍で利用者数が減少していることから、利用者を回復させるための検証は必要と考えている。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
コミュニティバスの運行、公共交通事業者への補助により、市内交通不便地域の解消に寄与している。 一方、令和３年度はコロナ禍による収入減を国の補助の増額により対応できたが、利用者はコロナ禍以前まで戻っていない。このままでは路線維持が厳しく、今後の公共交通のあり方の再検証が必要である。
安全で快適な交通環境の実現のため道路交通の円滑化を図り、市民に公共交通の利用を促すことで渋滞緩和を目指すと共に、自転車利用者の利便性の向上に寄与している。 一方、利用者はコロナ禍以前まで戻っておらず、より一層の経費削減策の検証が必要である。
道路交通の円滑化を図り、都市機能の安全で快適な交通環境の実現のため、駐車場利用による道路上での一時駐車を少なくすることができており、都市機能の維持に寄与している。 一方、利用者はコロナ禍以前まで戻っておらず、より一層の経費削減策の検証が必要である。
交通安全教室の実施及び放置自転車等の撤去による駅周辺の安全確保、都市景観の確保など、交通安全意識・交通環境の向上に貢献している。 放置自転車の撤去により、駅周辺を誰もが安心して通行できる快適な環境を確保するとともに、都市景観の創出に寄与している。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅲ	みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち
施策分野	16	道路・橋梁・河川
目指す姿	安全な道路環境が整っており、誰もが安心して通行しています。	

2. 成果を測る指標

指標名	安全な道路環境が整っていると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	34.4 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 道路管理事務	建設管理課
② 道路新設・改良事業	道路河川課
③ 交通安全施設整備事業	建設管理課
④ 橋梁新設・改良事業	道路河川課
⑤ 橋梁管理事務	建設管理課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
今後事業の進捗を考えると、予算や従事者の確保の検討が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 財源	<input checked="" type="checkbox"/> 人員
	<input type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input type="checkbox"/> その他	
	（ ）	



担当課室		
建設管理課	道路河川課	



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	まだまだ安全な道路環境が整っているとは言えず、引き続き計画的な整備を行う必要があるため。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
道路法や関係法令等で、道路管理や市管理地などを適切に維持管理することにより、市民が快適に生活することができる。	
歩道の設置による歩行者の安全を確保し、道路新設による渋滞の緩和、狭あい道路の拡幅による車両事故の減少に効果がある。	
道路を継続的に維持管理することにより安全に通行でき、市民が安心して生活できる。	
橋梁の架け替えにより、市民がより安全に暮らせる移動空間となる。	
橋梁を継続的に維持管理することにより安全に通行でき、市民が安心して生活できる。	



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅲ	みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち
施策分野	17	住環境・建築
目指す姿	多様なニーズに応えられる住宅が供給され、市民が良好な住環境で暮らしています。	

2. 成果を測る指標

指標名	安全な居住環境で生活できていると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	59.1 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① すまい・空家等対策事業	住宅政策課
② 建築物耐震化推進事業	建築指導課
③ 建築指導監督業務	建築指導課
④ 住宅省エネルギー化推進事業	住宅政策課
⑤ 市営住宅等管理事務	住宅政策課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
各事業を担当する職員の減少や補助金制度の予算縮小など、事業を縮小せざるを得ない状況下であるが、担当職員が協力し連携を深め、また、優先度を勘案しながら効果のあつた事業を中心に拡大させることで、より一層目指す姿の実現に向け取り組んでいく。	■ 財源	■ 人員
	■ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
住宅政策課	建築指導課	



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	施策に係る具体的な事務事業である空家等対策をはじめ、建築物の適正な管理、確認・指導、耐震や省エネ対策に対する補助制度を行う等により、概ね目標を達成している。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
良好な住環境の維持、保全を図ることを目的とし住宅や建築に関する不安の解消を図り、建築物の安全確保に繋げる。住宅・建築物相談会並びに空家等相談会を開催し、併せて12回の活用実績となった。維持管理が不備である空家等の所有者に対し適正に管理するよう促し、周辺住民に対する不安を解消し持続性のある住みよい住環境の提供に繋げる。利活用可能な空家等の流動を促進するため補助金制度等の啓発等を行い、目標の空家等利活用再生補助金の交付実績となった。
災害に強い、安全・安心なまちづくりの推進に向けて、耐震化されていない建築物について、地震に対する安全性の向上を目的に、耐震化の普及啓発や耐震改修に対する助成に係る取組み等を行った。具体的には耐震性の低いと思われる旧耐震基準の木造住宅の所有者（2,522件）へDMを送付し、周知を行い、耐震性のない住宅の耐震診断の実施（38件）及び耐震改修に対し補助金の交付（6棟）に繋げ、耐震化を進めることで、良好な住環境に寄与し、多様なニーズの一つである耐震化住宅を供給した。
建築基準法及び各種関係法令に基づき提出された書類により、書類審査及び現場検査を行い、建築物等が基準に適合していることを確認すると共に、既存建築物が適正に維持管理され使用されていることを確認することで、安心安全で快適な住環境の整備が図れている。また、都市計画法等に基づく開発行為に対する適切な指導により、都市計画区域内において都市計画に合致した土地利用を進めており、良好な住環境を維持している。
住宅の省エネルギー性能の改善を図ることにより、快適性能等の向上と共に二酸化炭素の排出削減と身体健康維持・増進させる住まいづくりを推進する。既存住宅省エネルギー改修工事等補助金並びに長期優良住宅建築等計画認定等の制度の啓発や情報提供により、併せて191件の目標以上となる制度活用の実績を収め、優良な住宅または優良な宅地の供給に寄与し、良質な住宅が建築され長期にわたり使用される優良な住宅供給の促進に繋がった。
檀原市公営住宅等長寿命化計画（檀原市営住宅整備・管理計画を含む）に基づき、老朽化したストックの更新や長寿命化に取り組み、安全で快適な市営住宅を長きに亘って確保し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で提供する。令和3年度より前記計画に則り、公営住宅の長寿命化改修等を実施した。また、市営住宅14戸の公募を行った。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅲ	みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち
施策分野	18	地球環境
目指す姿	市民が環境保全と資源循環に高く関心を持ち、環境負荷の少ない持続可能な社会を築いています。	

2. 成果を測る指標

指標名	日頃から環境に配慮した行動を取っている市民の割合					
実績値	令和2年度	46.6 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① ごみ減量化・資源化事業	環境衛生課
② リサイクルプラザ管理事務	環境保全課
③ 3R推進事業	環境保全課
④ 環境対策事業	環境衛生課
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
各種取り組みを行っているが、大きな効果が得られていない。現在の施策を見直し、効果の高いものを考案・選択していく必要がある。	<input type="checkbox"/> 財源	<input type="checkbox"/> 人員
	<input type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 （施策の見直し）	



担当課室		
環境衛生課	環境保全課	



施策分野の 進捗度	進捗度	C	目指す姿の実現には努力が必要である
	理由	リサイクル率は上昇しておらず、循環型社会の形成が進んでいるとは言い難い。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
可燃ごみの有料化によりごみの減量化を行うとともに、集団回収報償金により資源物回収の取り組みを促進したことにより、省資源に寄与した。	
搬入された一般廃棄物（不燃物・粗大ごみ・資源ごみ・有害物）を滞りなく適正に処理するとともに、有用資源の回収を行い、省資源に寄与した。	
資源化率については、低迷しているものの、広報紙やスマートフォン向けアプリにより、市民におけるごみ分別の意識高揚が図れた。	
市域の環境状況の情報発信を行うとともに、住宅への太陽光発電システムの導入補助を行うなど、地球温暖化対策の取り組みを行うことにより、環境保全に寄与した。	



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅲ	みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち
施策分野	19	生活環境
目指す姿	市民が、良好な生活環境で暮らすことができています。	

2. 成果を測る指標

指標名	良好な生活環境で暮らすことができていると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	61.3 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 一般廃棄物処理企画運営事務	環境企画課
② 塵芥収集事務	環境業務課
③ し尿処理場管理事務	環境保全課
④ し尿処理事業	環境保全課
⑤ 地域環境衛生事業	環境衛生課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
上記のような施策を実施しなければ、良好な生活環境は維持できない。そのため、着実に施策を実行していけるだけのリソースの確保が必要となる。	■ 財源	■ 人員
	■ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
環境企画課	環境衛生課	環境保全課
環境業務課		



施策分野の 進捗度	進捗度	A	目指す姿を既に実現している
	理由	一般廃棄物処理をはじめとした施策を確実に実施することで、生活環境に影響のある問題は生じていない。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、一般廃棄物処理計画により適正な処理体制を確保し、滞りなく廃棄物処理事業を行った。焼却施設としては、搬入された一般廃棄物を滞りなく適正に処理した。
生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、適切な収集体制の確保や車両管理を行い、滞りなく家庭系一般廃棄物の収集を行った。
生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、搬入された一般廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）を滞りなく適正に処理した。
良好な生活環境を維持するために合併浄化槽設置に対しての補助を行い、下水道を含めた生活排水処理率は市の人口の83.5%に達した。
野生生物の異常繁殖や疫病の蔓延を防止し良好な生活環境を維持するため、狂犬病予防注射の接種事業や猫の不妊手術助成事業などを計画的に実施した。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	Ⅲ	みんなが安全に、快適な環境で生活できるまち
施策分野	20	上下水道
目指す姿	安全な水道水の供給と適切な汚水処理により、市民が衛生的で健康的な生活を送っています。	

2. 成果を測る指標

指標名	安心して水道を利用できていると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	80.5 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 上水道管整備事業	上水道課
② 下水道施設建設事業	下水道課
③ 上水道施設管理事務	上水道課
④ 下水道施設維持管理事務	下水道課
⑤ 災害時体制整備事業	経営総務課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
上水：安全な水道水の供給を持続可能なものとするため、給水収益の推移を考慮しつつ、今後も管路整備の推進と施設等の維持管理を両輪で実施していく。下水：施設の老朽化に伴い、維持管理費と建設費の予算配分バランスが課題となるが、施設の調査や点検に基づき、計画的かつ効率的に維持管理を行い、建設事業も推進していく。	■ 財源	■ 人員
	■ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
経営総務課	上水道課	下水道課



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	現時点で事務事業実施の実績により、また成果指標の実績値からも安全な水道水の供給が実現できていると言える。汚水処理に関しては現時点で普及率約80%であり、今後も計画的に整備を進めることで、「目指す姿」の実現を目指す。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
他事業で支障になる上水道管の移設・復旧や、老朽化した上水道管の管路の管路更新・耐震化を継続して実施することにより、日常の漏水や長期断水のリスクを確実に軽減しており、将来にわたる水道水の安定供給に寄与している。	
市街化区域を中心に計画的かつ効率的に下水道施設の整備を進めることにより、昨年度より普及率を0.5%上昇させており、より多くの市民の快適な生活環境を向上させることに寄与している。	
過去の実績等から適切な年間送水計画を策定した上で、県営水道からの時間毎、日毎、月毎の受水量の管理を行うことにより、過不足のない供給量を確保できている。また、四半期毎に市内6か所の加圧ポンプ場の点検を継続して実施することにより、加圧ポンプ場施設の重大故障事案は発生しておらず、水道水の安定供給に寄与している。	
ストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の点検・調査を実施することにより、市民が継続的に衛生的な生活環境を維持することに寄与している。	
非常時を想定して給水訓練を毎年定期的に行ない、職員の意識や技術の向上、また緊急時に迅速かつ的確な対応がとれるように努めており、令和3年10月に発生した和歌山市における水管橋崩落事故では、応急給水の支援活動を行った。	



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	IV	みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち
施策分野	21	公園・緑地
目指す姿	市民の参加により公園・緑地などの身近な潤い空間が管理され、誰もが憩いの場として快適に利用できています。	

2. 成果を測る指標

指標名	市内に憩いの場として利用できる公園・緑地があると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	49.6 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果がかった順番）

効果がかった事務事業	担当課室
① 公園整備事業	公園緑地景観課
② 公園管理事業	公園緑地景観課
③ 緑化推進事業	公園緑地景観課
④	
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
公園施設の老朽化や、高齢化による管理者の不足、少子化による利用者の減少が懸念される。公園施設の長寿命化計画を運用し適格に施設の維持管理を行う必要がある。また、民間活用などによる新たな管理体制を構築する必要がある。	■ 財源	■ 人員
	■ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
緑地景觀課		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	公園設備の改修やP-PFIの導入などにより公園管理体制が向上した。また、市民の意見を聞いて公園整備・管理、緑地の維持を日々行っているため。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
植山古墳公園において、令和2年度に整備した駐車場周辺に四阿や広場の整備を行った。また他の公園においても橿原市公園施設長寿命化計画に基づいて老朽化した遊具や設備の改修を行った。公園の安全性と利便性の向上に寄与した。
市民と協働で公園の清掃・除草等維持管理を行った。公園施設については市内公園照明灯のLED化による設備の更新を行った。また、奈良県内で初のP-PFIの導入等、公園施設の運営において民間活用を進めた。公園の運営・管理の向上に寄与した。
令和3年度は生産緑地制度の周知を重点的に行った。その結果成果指標の目標を達成することができた。また、自治会による緑化活動や参道の森美化協議会等については、コロナ禍の影響による制限はあったものの清掃活動を行った。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	IV	みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち
施策分野	22	まちづくり・景観
目指す姿	近代的な都市機能と、歴史的景観が共存しており、市民がそれを橿原市の魅力として感じています。	

2. 成果を測る指標

指標名	快適性・利便性・安全性と歴史ある景観が共存していると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	58.4 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業	担当課室
① 都市政策事務	都市計画課
② 景観形成事業	緑地景観課
③ 医大及び附属病院周辺整備事業	市街地整備課
④ 八木駅周辺整備事業	市街地整備課
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
各地域の特徴に応じたまちづくりの検討を進め、市民や関係機関などと協議を行い、魅力あるまちづくりを進めていく必要がある。	■ 財源	■ 人員
	■ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
市街地整備課	都市計画課	緑地景観課



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	都市機能を充実させるための検討を行うとともに、歴史的景観を維持しながら地域の個性に応じた景観形成を進めている。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
計画的な土地利用を推進するため、都市計画法等を適切に運用することにより、昨今の社会情勢や概ね10年後を見据えた都市計画（都市計画道路）の変更を行ったことで、秩序ある都市の発展に寄与するとともに、歴史的景観の維持にもつながっている。
橿原市は歴史と現代が調和した個性ある景観形成を進めている。本市特有の歴史的資源を残しながらも、それぞれの地域の個性に応じた景観形成を進めるため、令和3年度は沿道景観保全地区を追加し、「橿原市景観計画」「橿原市景観条例」の変更による景観形成基準の強化を行った。（令和4年4月施行）それにより市民が魅力を感じる景観の形成に寄与している。
新キャンパス周辺地区において、地元地権者を中心としたまちづくり協議会を事務局として支援し、まちづくりの検討を進めた。また、附属病院周辺地区において、奈良県、近鉄、橿原市の協議を実施し、健康増進拠点の検討を行った。新型コロナウイルス感染拡大の影響により関係機関等の協議や事業者へのヒアリングの開催が困難であったことから進捗に遅れを生じたものの、事業計画素案の作成（新キャンパス周辺地区）、新駅整備等におけるまちづくり効果検証（附属病院周辺地区）を行うなど一定の効果をあげることができた。
畝傍駅・駅前広場再整備事業について、市が求める募集条件では応募が見込めないことが判明し、畝傍駅駅舎の民間事業者等による活用を断念したことから、当初の想定通り事業を展開することができなかったが、駅舎及び駅周辺の整備方針について方向性を示すことができた。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	IV	みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち
施策分野	23	歴史・文化財
目指す姿	市民が橿原市の歴史と文化財に誇りと愛着を持ち、その心を次世代へ引き継いでいます。	

2. 成果を測る指標

指標名	橿原市の歴史と文化財に誇りと愛着を持つ市民の割合					
実績値	令和2年度	49.1 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業	担当課室
① 世界遺産登録推進事業	世界遺産登録推進課
② 今井町並保存整備事業	今井町並保存整備事務所
③ 地域文化財保存活用事業	世界遺産登録推進課
④ 歴史に憩う橿原市博物館管理活用事業	文化財課
⑤ 文化財保存活用事業	文化財課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
歴史と文化財に興味を持つ市民の裾野を広げる必要があるため、文化財の新たな啓発の方法の検討、文化財を活用したイベントの充実、文化財を訪れる市民への利便性の向上を図る。	■ 財源	■ 人員
	□ 組織体制	□ 法律改正
	□ その他 ()	



担当課室		
世界遺産登録推進課	文化財課	今井町並保存整備事務所



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	様々な文化財についての啓発活動を行うことで、市民の方々が橿原市の歴史に触れる機会が増加しているため。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会（奈良県、桜井市、明日香村とともに参画）において、世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の推薦書等のブラッシュアップを行い、令和4年度に推薦書（素案）を文化庁へ提出する準備が整った。また、協議会により刷新した「飛鳥・藤原」の啓発パンフレットの配布や、コロナ禍にも関わらず定員400名の定員に対して350名の参加があった奈良講演会、各種イベント等での啓発活動において、「飛鳥・藤原」の価値を発信し世界遺産登録への機運醸成や理解促進に繋がった。
電線類の地中化工事を実施し、整備率が約69％に到達したことにより、住環境の整備が進み街なみ景観が向上した。また、今井町の町並みを後世に継承するため、伝統的建造物等の修理・修景事業を実施する者に対し補助金を支出したことにより建造物等の修理件数が354件となり、文化財の保存と継承に繋がった。これらの取り組み内容をはじめ、今井町の歴史的町並みの価値や魅力を情報発信するため、大学等で講座を2回実施したことで文化財に興味を持っていただくことができた。
藤原宮跡の約58,000㎡において春・夏・秋の花園植栽整備事業を実施し、ホームページにその開花状況を66回更新掲載した。その結果、花園に近接する橿原市藤原京資料室の入室者が、令和2年度の約1.7倍の9,700人を上回った。また、新たに世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原」の構成資産の一つである藤原宮跡の世界遺産としての価値の理解促進を目的としてパンフレットを当課で作成した。併せて、藤原宮跡の散策マップをパンフレットに掲載したことによって、来訪者の藤原宮跡の回遊性が向上した。
歴史や文化財に興味を持つ機会を増やすための手段として、3回の展覧会と7本の博物館の取り組みや文化財を題材とした体験学習の動画公開を行い、2,963名の来館者、3,599回の動画視聴があった。特に動画視聴では橿原市の歴史や文化財について学ぶ新たなきっかけを提供する効果があった。
文化財審議会を開催し、考古資料1件を市指定文化財に指定した。その報道発表により普及啓発を進め、当市の文化財に対する誇りと愛着を増やすことができた。史跡の公有化を1件完了し、将来の整備活用に向けての進展があった。普及啓発の一環として、奈良県下の39市町村との協働による体験イベントの開催、発掘調査報告書の刊行、発掘調査成果の説明会などによって、文化財の保存公開活用を促進することができた。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（檀原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	IV	みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち
施策分野	24	観光・交流
目指す姿	市民が檀原市の魅力や新たな価値を積極的に発信し、中南和地域の観光・交流の拠点としてまちに多くの人が訪れています。	

2. 成果を測る指標

指標名	檀原市の魅力や価値を他の誰かに伝えることができる市民の割合					
実績値	令和2年度	39.4 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業	担当課室
① 観光プロモーション事業	観光政策課
② 観光施設管理活用事業	観光政策課
③ 観光客受入れ環境整備事業	観光政策課
④ 観光振興事業	観光政策課
⑤ 戦略的情報発信事業	企画政策課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
<p>コロナの影響により激減した市内観光客・宿泊者数を元の水準まで戻すことが当面の課題であり、コロナで変化した生活様式や観光形態にあわせた観光施策が必要となる。</p> <p>また、市民に自主的・積極的に市の魅力や価値を発信してもらうことも課題であり、魅力・価値を伝える機会を増やすことや発信したくなる取り組みを進める必要がある。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 財源	<input checked="" type="checkbox"/> 人員
	<input type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 （ 官・民の人員 ）	



担当課室		
観光政策課	企画政策課	



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	市民が積極的に発信するための魅力・価値を伝える機会は少なかったものの、中南和の観光拠点として観光客・宿泊客の誘客を促進する取り組みは継続できているため。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠
中南和の観光拠点として、特に宿泊客の誘客を促進するため、全国メディアを複数社取材誘致し、檀原市の魅力をプロの手で発信してもらったり、若い女性をターゲットとした全国誌へ記事を掲載してもらったりする等コロナ禍でも実施できる観光プロモーションに注力することで、市内宿泊数を前年比6%増とすることができた。
本市の周遊観光の結節点である今井町並びに八木町に来訪者を誘客することを目指し、施設及び地域の広報活動を継続して行ったことにより、今井まちなみ広場駐車場については前年度比約43%、今井西環濠広場駐車場については前年度比約5%、八木札の辻交流館使用料については前年度比約21%、使用料収入を増加させることができた。
新型コロナウイルス感染症が拡大する中、感染症対策を行った上で各観光施設の運営を行った結果、奈良文化財研究所藤原宮跡資料室案内者数を前年度比約97%増加させることができた。
新型コロナウイルス感染症が拡大する中、イベントの実施は中止せざるを得ない状況であったが、コロナ禍においても（一社）檀原市観光協会のホームページをリニューアルすることにより、本市の新たな魅力を発信することができた。
全体的に檀原市の魅力や新たな価値を発信する機会が不十分であったが、一部の取り組みでは檀原市の魅力や価値についての関心を高めることができた。具体的には奈良県立医大の学生に檀原市の魅力を伝え、関心を高めるための講演をしたところ、関心度<1（低）～5（高）>について、関心度4・5の学生が講義前後で、24%→64%と大幅に高まり、関心度1・2の学生が20%→6%に下がり、檀原市への関心度を高めることができた。



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	IV	みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち
施策分野	25	商工業・しごと
目指す姿	新たな産業を生み出す環境が整い、地域経済の循環を市民がまちの賑わいとして実感しています。	

2. 成果を測る指標

指標名	経済が循環し、まちが賑わっていると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	23.9 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があった順番）

効果があった事務事業	担当課室
① 創業者・中小企業等支援事業	地域振興課
② 商工業振興事業	地域振興課
③ 移住定住促進事業	地域振興課
④ 労働対策事業	地域振興課
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
コロナ禍における経済の低迷に対し、市内事業者を支援し、市内消費を高めることが課題となっている。現在、倒産件数は増加していないが、融資の返済時期が到来した際に、返済不能になる事業者を増加させないために、地域振興券の発行や支援金措置だけでなく、withコロナに対応する事業内容変更への支援事業や市内消費拡大に繋がる施策等を展開することが必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 財源	<input type="checkbox"/> 人員
	<input type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input type="checkbox"/> その他 ()	



担当課室		
地域振興課		



施策分野の 進捗度	進捗度	C	目指す姿の実現には努力が必要である
	理由	コロナ禍が長引くことにより、地域振興券の発行や支援金措置を実施しているにも関わらず、市内での人流や消費が減少し、地域経済が落ち込んでいるため	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
コロナ禍で売上げが落ち込む市内事業者に、融資制度や利子補給制度、また時短営業店への助成や支援金制度を整え事業者支援を実施したことで、県内倒産件数は新型コロナウイルス感染症拡大前よりも減少している。	
檀原商工会議所を通じて、創業塾や空き店舗事業など新たに創業する事業者の支援を実施した。また、冬季イベントとして大和八木駅前のイルミネーションを実施し、駅周辺商店の賑わいの創出に繋がったものと考えられる。	
移住定住サポートネットワーク戦略プランの策定と同時に、連携事業者との協定を締結し、移住者相談者からの受け入れ態勢を整えた。また、三世代ファミリー定住支援住宅取得補助金や移住セミナー、オンライン移住イベント等の実施により、本市への社会減少が抑えられている。	
シゴト応援フェアを実施したことで、参加者が実際に就職に繋がった事例があったことから、就労支援として効果があったものとする。	



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	IV	みんなが活力と魅力を生み、賑わいあふれるまち
施策分野	26	農業
目指す姿	持続的で魅力のある農業が行われ、市民が地元の農産物に愛着を持っています。	

2. 成果を測る指標

指標名	地元の農産物に愛着を持つ市民の割合					
実績値	令和2年度	29.9 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① 農業振興事業	農政課
② 新沢千塚集客施設管理事業	農政課
③ 土地改良事業	農政課
④	
⑤	

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
<p>農業者の高齢化による、耕作放棄地の増大が予想されるため、新たな担い手の確保に向けた支援の実施や農地の集約化を進めることで耕作地を増やし、地産地消を推進する。農業用施設等の要望においては、農業用施設の老朽化を踏まえ、必要性・緊急性から、優先度や予算の平準化を考慮し、計画的に対応する必要がある。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 財源	<input checked="" type="checkbox"/> 人員
	<input type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input type="checkbox"/> その他 ()	



担当課室		
農政課		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	新規就農者の確保及び将来の営農状況や後継者について、地域住民が話し合えたことで継続的な農業の促進に繋がり、また集客施設では、市内農産物を取り扱い販売したことで、来客数や売上げが増加し、地産地消が促進されたと考えられるため。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
農業従事者の高齢化が進んでおり、離農者を増やさないためにも新規就農者の確保が喫緊の課題である。補助事業や営農サポート体制を充実したことで、新規就農者の確保に繋がり、地元農産物の作付け増加となった。地域住民らが将来の営農状況や後継者を把握し、農地の利用集積について検討する人・農地プランの実質化に向けた話し合いを行うことで、農地を守る意識が高まった。	
地元で作られた新鮮な農作物を販売することにより、昨年に比べて来客数及び売り上げも増加したことにより地産地消の推進につながった。 また、地元農事組合の運営により、顧客のニーズに合った花壇苗や農産物加工品等を取り扱うことで、地元の活性化に寄与した。	
事業主体である地元代表者及び各農家水利組合からの施設改修や修繕の要望に対し、必要性、緊急性から優先度を考慮し、計画的に補助金を執行することで、農業用施設の健全性の確保や維持管理の適正化を図る効果が得られた。また、農業用水路や農道確保整備等において、老朽化対策や安全対策を実施し、施設の機能を維持・向上させることで、農業の生産性向上を図る効果が得られた。	



総合政策審議会からの提言等

令和3年度施策評価シート（橿原市第4次総合計画 前期基本計画）

1. 概要

政策	V	市民とともに「かしはら」をつくる信頼の行政運営
施策分野	27	行政運営
目指す姿	持続可能な行政マネジメント方針 市民とともに「かしはら」をつくる信頼の行政運営	

2. 成果を測る指標

指標名	市民目線でしっかりした行政運営がなされていると感じる市民の割合					
実績値	令和2年度	20.4 %	令和5年度		令和7年度	

3. 目指す姿の実現に効果があった事務事業（効果があつた順番）

効果があつた事務事業	担当課室
① ICT推進事業	デジタル戦略課
② ふるさと納税事業	地域振興課
③ かしはらマイナンバー商品券事業	企画政策課
④ 市民窓口事務	市民窓口課
⑤ 財政管理事務	総務課

4. 目指す姿を実現するための課題と解決方法

課題と解決方法	課題解決のための必要な要素	
行政手続きのデジタル化には、本人認証と手数料等の決済方法に課題があります。市民の信頼を得られるよう、セキュリティに配慮して解決します。また、健全な財政運営のためには事業の取捨選択が課題となります。具体的な取組施策を考案する組織を職員で編成し、行財政改革を進めます。市民や多様な主体と協働していきます。	<input type="checkbox"/> 財源	<input type="checkbox"/> 人員
	<input checked="" type="checkbox"/> 組織体制	<input type="checkbox"/> 法律改正
	<input type="checkbox"/> その他 ()	



担当課室		
企画政策課 外19課室		



施策分野の 進捗度	進捗度	B	目指す姿に向けて順調に進んでいる
	理由	概ね順調であるが、デジタルを利用した新たな行政手続きの導入やふるさと納税返礼品の開発、行財政改革に向けた具体的な取組施策が今後必要であるため。また、包括連携協定などを締結した企業や大学等との連携事業がまだ十分でないため。	



事務事業による目指す姿への効果の内容とその根拠	
庁内デジタル化を推進することにより業務の効率化とコストの抑制を図るため、試験的に無線LANを配置しペーパーレス会議を実施しました。また、行政手続きのデジタル化により市民の利便性の向上を図るため、子育て世代への臨時交付金のオンライン申請を導入、更に市民がスマートフォン等で道路や公園遊具の損傷を通報できるシステムを導入し、来庁や郵送手続きを省き迅速な業務を実施しました。今後、デジタル化による利便性の向上を目指し、各課から選出された若手職員と意見交換し、魅力ある行政サービスの提供に努めます。	
信頼される行政を運営していくために歳入を増やすことは非常に重要な業務です。そこで、歳入確保に向け、市内事業者と協働で魅力ある返礼品を増やした結果、順調に寄附金が増え、目標金額の約1.3倍となりました。今後は新たなふるさと納税ポータルサイトの追加や魅力ある返礼品の新規開拓に更に努め、寄附金額の増額に努めます。	
デジタル化を推進するためマイナンバーカード保有者を増やすこと、コロナ禍で困窮する市民や事業者を迅速に支援することを目的に、カードを保有する市民に市内事業者で利用できる商品券を配布しました。その結果、カード保有者が約15,000人増え、市民の約半数の方々が商品券を使用し、市民への経済的支援、事業者支援として効果がありました。今後、更にカード保有者を増やすため、カードを利用した人にやさしく魅力ある行政サービスの提供が必要です。	
マイナンバーカードを介したデジタル手続きの利用を促すため、窓口数の増設や休日・夜間開庁を行い、カードの普及に努めました。マイナンバー商品券事業の効果もあり、カード交付率は57.7%まで増え、住民票や印鑑証明書等のコンビニ交付枚数は、前年度比約1.65倍となりました。信頼いただける行政となるよう、カードの安全性・利便性を粘り強く市民に説明し、引き続きマイナンバーカードの取得を推奨していきます。	
住民サービスに必要な予算の確保、適切な予算執行は信頼される行政運営を行うために非常に重要です。そのため、歳入に見合った支出を行う必要があると判断し、予算編成方法として「一般財源枠配分方式」を新たに導入し各部署局長のマネジメント力をより発揮できるようにしました。これにより、予算規模を前年並みに抑制できましたが、引き続き厳しい財政状況が考えられる中、財政調整基金に依存しない持続可能な予算編成ができるよう、今後も検討する必要があります。	



総合政策審議会からの提言等